

## 診療録の閲覧に関するお知らせ

『研究課題名 抗線維化薬投与下における特発性肺線維症急性増悪の発症頻度の検討』

### 【研究の背景および目的】

特発性肺線維症は慢性進行性の疾病ですが、経過中に急性増悪と呼ばれる急性の原因不明の呼吸不全を呈する病態が出現する場合があります。

ピルフェニドン(ピレスパ<sup>®</sup>)及びニンテダニブ(オフエブ<sup>®</sup>)は特発性肺線維症において用いられている抗線維化薬であり、急性増悪の発症も抑制することが期待されていますが、急性増悪発症抑制効果に関しては未だ明らかではありません。

そこで、東邦大学医療センター大森病院呼吸器内科では抗線維化薬投与下の急性増悪の発症率を明らかとすることを目的として本研究を計画しました。

この研究で得られる成果は、間質性肺炎に対する治療薬の選択につながると考えられます。

### 【研究対象および方法】

この研究は、東邦大学医療センター大森病院倫理委員会の承認を得て実施するものです。

2009年～現在までに東邦大学医療センター大森病院呼吸器内科において、特発性肺線維症に対してピルフェニドン(ピレスパ<sup>®</sup>)あるいはニンテダニブ(オフエブ<sup>®</sup>)の投与を受けた患者さんを対象とします。

方法は対象となる患者さんの診療録から急性増悪発症の有無、年齢、性別、採血結果、呼吸機能検査値などの調査項目を収集し、統計的な解析を行います。

今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報が外部に漏れることは一切ありません。

患者様ご本人やご遺族様、ご関係者様の中で本研究に関してご質問のある方、診療情報を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。

### 【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大森病院呼吸器内科  
職位・氏名 助教・一色琢磨  
電話 03-3762-4151 内線 77671